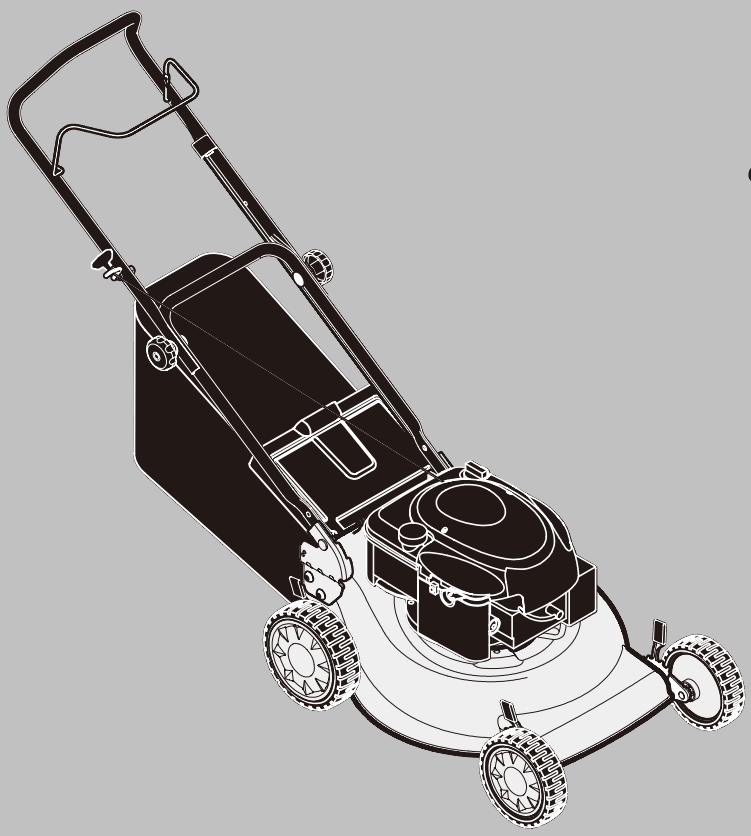
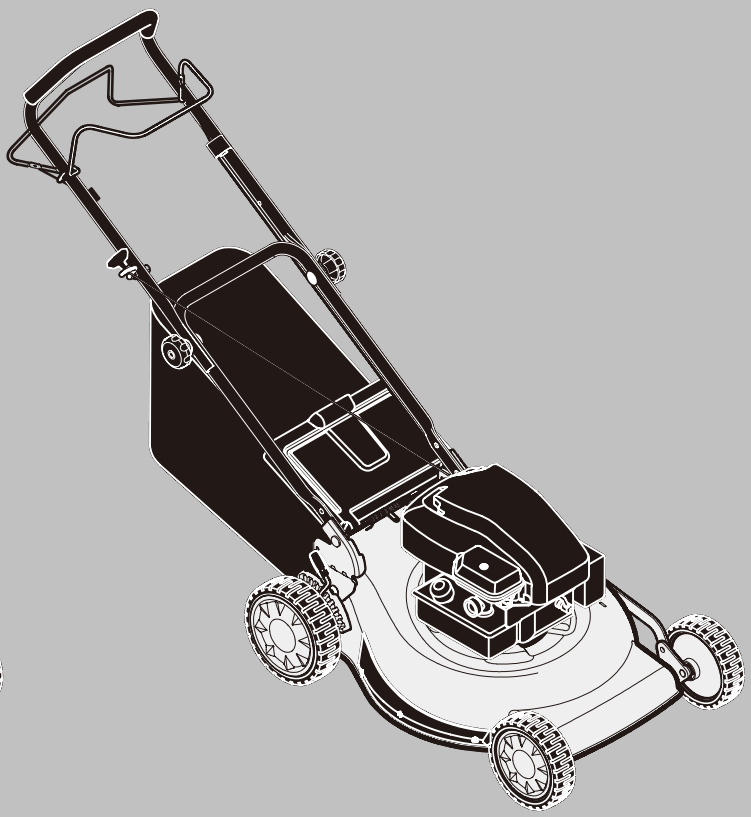
MURRAY 芝刈機取扱説明書

モデル 880478

モデル 880479

モデル 880480





目　次

オペレータの安全のために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

イラスト（図解） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

特徴とコントロール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

組立 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

メインテナンス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

トラブルシューティング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

オペレータの安全のために

シンボルと警告:

⚠ この安全アラーム・シンボルは、人身負傷事故を起こし得る危険についての安全情報を示すものです。シグナルの語(危険、警告、または注意)は、警報シンボルとともに使われ、重度の負傷が起こりえる可能性と確率を示します。付け加えて、危険シンボルは危険の種類を示すのにも使われます。

⚠ **危険** は避けられなかった場合、死亡事故や重度の負傷事故が起こる危険を示します。

⚠ **警告** は避けられなかった場合、死亡事故や重度の負傷事故が起こるかもしれない危険を示します。

⚠ **注意** は避けられなかった場合、軽度や中度の負傷事故が起こる危険を示します。

注意(シンボルなしで使用) は製品への損害をもたらす状況を示します。

所有者の情報

この製品を充分に理解してください: この芝刈機がどのように作動するかを理解して、最も良い性能を引き出してご使用ください。 このマニュアルを読むとき、イラストを参照してください。 位置とコントロールの機能を理解してください。 事故を防ぐには、操作方法と安全基準に従ってください。後日のためにこのマニュアルを保管してください。

所有者の責任

⚠ **警告: この芝刈機は物が飛び出すことがあります。 以下の安全基準をよく読まないと、オペレータか周囲の人への大ケガをもたらすかもしれません。**

所有者として以下の操作を充分に熟知して取扱に慣れてください。

安全操作の練習

ロータリ式芝刈機の取扱のために

Ⅰ. 一般操作

1. ロータリ芝刈機の操作前にマニュアルをよく読んでいただき、充分に理解をしてください。そして、芝刈機としての操作をこのマニュアルを基に使い慣れてください。
2. 安全、アクセサリ及び操作に関するラベルの図解内容について充分にご理解願います。
3. 部品の周りや回転部分に手や足を置かないでください。
4. 充分に理解された責任がある人が芝刈機を操作してください。
5. 本機を使用する範囲を確認します。 本機から石などが飛散しケガをする可能性もありますので、家の窓、自動ガラス、温室などの壊れやすい物から離れていることを確認してください。
6. 芝刈をする周囲ですべての人々、特に小さい子供、およびペットが近くにいないことを確認してください。
7. 長袖シャツかジャケットなどの適切な衣服を着用します。 また長ズボンかスラックスをはき、半ズボンは適当ではありません。
8. 機械に巻き込まれないよう、ゆったりした衣服を着てください。
9. 本機からの飛散物の防護のために常に横もカバーしたゴーグルか安全メガネの着用してください。
10. 常に丈夫な作業用手袋と、丈夫な履物を着用してください。小さい棒やかけら等からオペレータの足首と向こう脛を保護するためです。
11. 小枝などの小さい飛散物によって打撲を防ぐために頭部を保護するヘルメット等を着用してください。
12. 本機を使用するにあたり、必要なカバーやプロテクタ無しでは使用しないでください。
13. 本来の目的だけに本機を使用します。部品が緩んだ状態であったり、砂利、棒、飛散物等で本機の損傷とならないようにしてください。
14. アクセサリの適切な操作とこの説明書の指示を参照してください。純正のアクセサリのみを使用してください。
15. 日光の下か明るい光の下で、作業してください。
16. アルコール、薬物または他の薬物療法の影響を受けて眠気を引き起こすか、または安全に本機を操作するための能力に影響することがある場合は本機を操作しないでください。
17. ぬれた草を本機で操作しないでください。 常に芝刈をする場所を確認し、ハンドルをしっかり掴んで歩行する範囲で操作してください。決して走るような操作をしないでください。
18. ご使用の前に、スロットルコントロールレバーとリンケージを点検します。 リンケージが自由に動くか、レバーが損傷されていないかを点検します。 また絡み合ったり、緩みのある部品その他キャブレタへのリンケージの位置が正しいか、もしくは障害がないかどうかキャブ

レタへのケーブルによる連結をチェックします。
コントロールが適切に作動していることを確認します。

19. 砂利道、歩道、もしくは道路を渡るときにはエンジンを止めます。
20. 道路の近くで操作するもしくは、道路を渡る場合は周辺に注意してください。
21. 修理や掃除する際に本機から離れる時は必ずエンジンを止めるか、または本機を点検して、すべての回転部が止まったのを確認してください。 エンジンを充分に冷却後、スパーク・プラグワイヤを外しスパーク・プラグから離してください。
22. 本機が異常に振動する場合は直ちにエンジンを止めてください。スパーク・プラグワイヤを外してください、ワイヤがスパーク・プラグに触れないようにします。直ちに原因を確認するか販売店に相談してください。 一般に、振動が大きい場合は危険であることの警鐘です。
23. 本機操作中に異物に当たったような場合、直ちにエンジンを止めてください。 スパーク・プラグからワイヤを取り外します。本機が 損傷していないか確認してください。損傷しているのであれば、エンジン始動前に修理をしてください。
24. 定期的に本機を点検してください。 部品が曲がったり、破損していないか確認してください。
25. エンジン運転中に、本機を抱え上げたり、運ばないでください。
26. ガソリンエンジンや芝刈機からの掻音と振動に対して長期に晒されないようにしてください。適時休憩を取り、手への振動を減少させるために重作業手袋を着用したり、エンジン等からの騒音を防止すべく耳へのプロテクタを使用してください。

Ⅱ. 傾斜地での操作

スロープ(傾斜地)では、滑ったり転落等で大ケガをもたらすことがあります。 それぞれの傾斜地に応じて充分警戒する必要があります。傾斜地で操作の不安を感じたら、本機を使用しないでください。

- 過度に急な傾斜地(約最大 15 度)や地面が非常に荒い場所での芝刈をしないでください。 傾斜地の方向が変わった場合は特に注意を払ってください。
- 岩石、木の大枝などを取り除いてください。
- 作業する場所の穴、溝、または隆起に注意してください。高い草は障害が隠れていることがあります。
- 大きな穴や溝もしくは堤防の近くで芝刈をしないでください。オペレータがバランスを失い危険です。
- 急斜面を過度に芝刈りしないでください。
- ぬれた草の上で芝刈りしないでください。穴の周りは滑りやすくなっています。

Ⅲ.子 供

オペレータが子供の存在に注意深くしないと、悲惨な事故は起こることがあります。 子供はしばしば芝刈機とその操作に引き付けられることがあります。 子供はあなたが確認していないと思っても、近くにいるかもしれないと想定してください。

1. 子供は芝刈作業範囲以外の場所と、責任がある大人の注意深い管理下においてください。
2. 作業中は注意深く行なってください。もし子供が領域に入るなら、芝刈機を停止してください。
3. 芝刈機をバックさせる際、後方に子供がいないか確認してください。
4. 子供に芝刈機は決して操作させないでください。
5. 見通しのきかない曲がり角、低木、木、または他の物に近づくときは充分な注意を払ってください。

Ⅳ. サービス

1. ガソリンや他の燃料の取扱いには余分に注意してください。それらは可燃物です。そしてその蒸気は爆発することがあります。
   a. 承認された容器のみを使用します。
   b. エンジン運転中は燃料キャップを決して外さないでください。給油する際には、エンジンを冷やしてからにしてください。 煙草は吸わないこと。
   c. 屋内で給油はしないでください。
   d. 湯沸かし器などの裸火がある近くに芝刈機や燃料容器を保管しないでください。
   e. 燃料タンクからドレンする場合は必ず屋外で行なってください。抜き取った燃料は専用容器の中に格納されるべきか、または慎重に処分してください。
   f. 古いオイルやガソリンは専用の容器で注意深く保管してください。
   g. 交換後の古いオイルや燃料はあなたがお住まいの自治体の規定に基づき処分してください。
2. 屋内か閉鎖された中でエンジンを運転しないで

ください。

3. エンジンを運転したまま、調整や修理をしないでください。スパーク・プラグワイヤを外してください。不意な始動を防ぐためにプラグからワイヤを遠ざけます(セル付きでキースイッチが装備されているなら、イグニッション・キーを抜いてください)。 調整や修理をする際には必ず目の保護のために安全メガネを着用してください。
4. ゆるみが無いか、頻繁にエンジン取付ボルトをチェックします。
5. すべてのナットとボルトが充分に締まっていることを確認してください。 ブレードを交換もしくはブレードを砥ぐ場合、取付け部をチェックします。
6. 安全装置をいじらないでください。 定期的に適切な操作を確認します。
7. 芝刈機をメンテナンスや修理をする際、この取扱説明書で表記されている指示事項以外で、本機を持ち上げたり、倒さないでください。芝刈機をメンテナンスや修理をするには、作業台がリフトアップできると、より簡単に行なえます。
8. 火災危険を防ぐために、芝刈機に付着した草、葉、または他の残骸等を定期的に取り除いてください。オイルや燃料をこぼしたら直ちに拭き取ってください。本機を格納する際にはあらかじめ冷却してから行なってください。
9. 本機を叩いた場合は運転前に必ず確認・点検をし、必要に応じて修理してください。
10. 掃除、メンテナンス及び修理する場合は必ずスパーク・プラワイヤを外してください。
11. エンジンのガバナセッティングをいじらないでください。オーバースピードとなることがあり危険です。
12. 必要に応じて安全装置と図解ラベルを清掃して、取り替えます。
13. エンジンオーバーヒートを防止するために、エンジン周りを常に清掃してください。
14. 格納前に芝刈機を点検してください。
15. 純正交換部品のみを使用してください。
16. カッターブレードは必ず純正部品を使用してください。

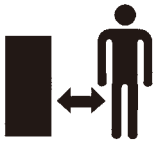
警 告

本機の使用前に取扱説明書を読んでください

物が飛びます

回転に足や手などを近づけないでください

10度以上の傾斜地で本機を使用しないこと



周囲の人を遠ざけてください

本機を修理する前に、スパーク・プラグワイヤを外してスパークプラグから離してください

指をつぶさないこと

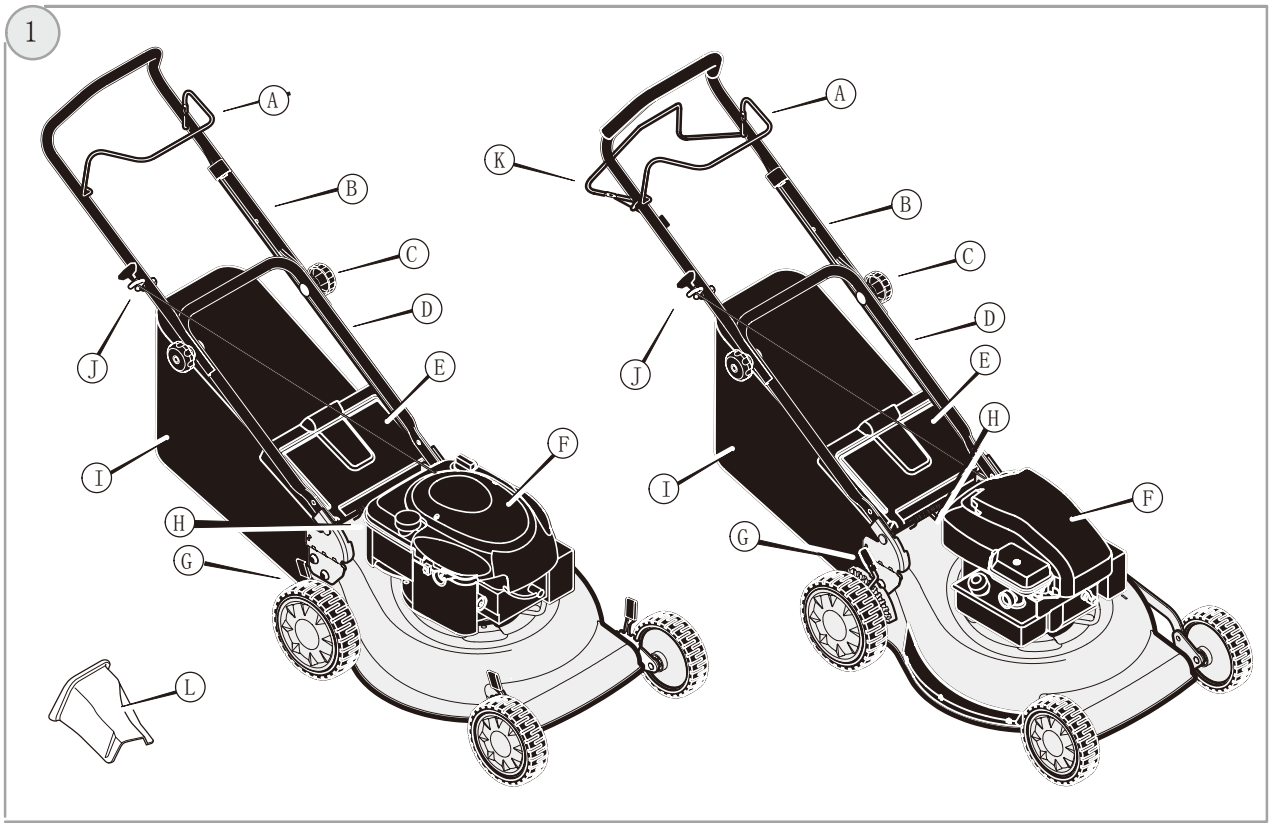
特徴とコントロール

（図 1）ご購入の芝刈機モデルと以下の特徴とコントロールを比べてください。 位置を知ってそれらの目的を必ず理解してください。

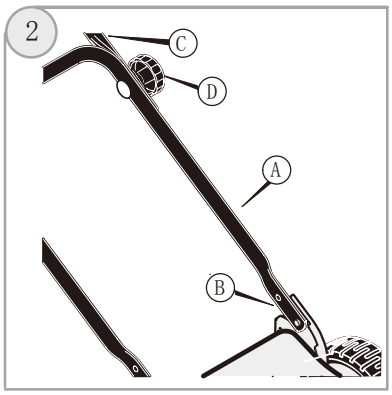
図 解

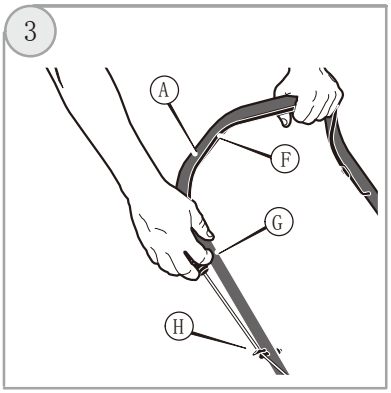
重要: 以下の図解はご購入の芝刈機もしくは製品と同梱された資料で確認できます。 芝刈機を操作する前に、各図解の目的を知っていただき、理解してください。

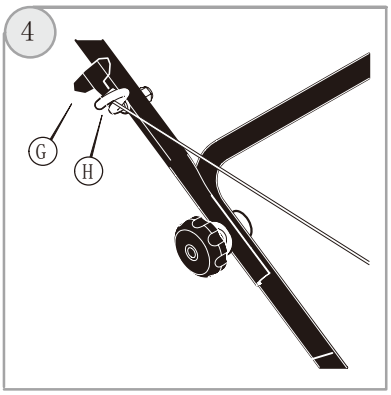
各　部　名　称

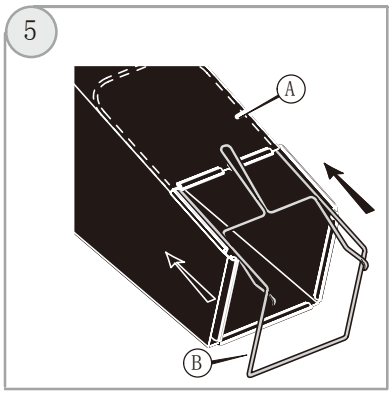


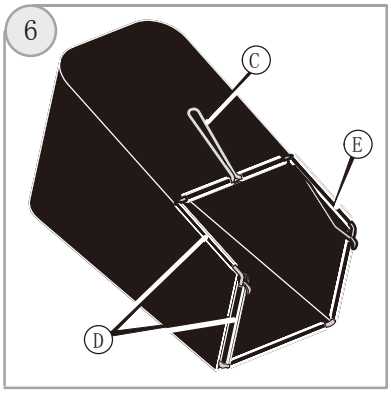
A. エンジン・ストップレバー
B. 上部ハンドル
C. ノブもしくはロックレバー
D. 下部ハンドル
E. 後部ドア
F. エンジン
G. 刈高調整アジャスタ
H. ネームプレート
I. 集草バッグ
J. リコイルスタータハンドル
K. 走行クラッチ・レバー（自走式モデル）
L. マルチャプラグ

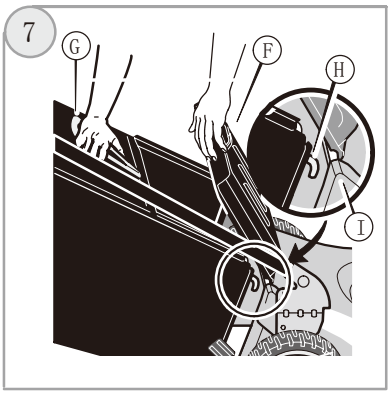

2
C
D
A
B

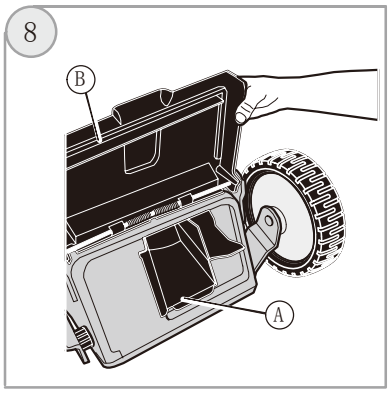

3
A
F
G
H

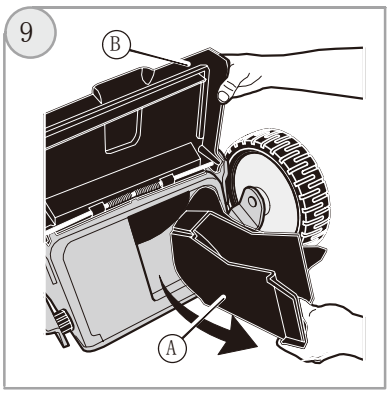

4
G
H

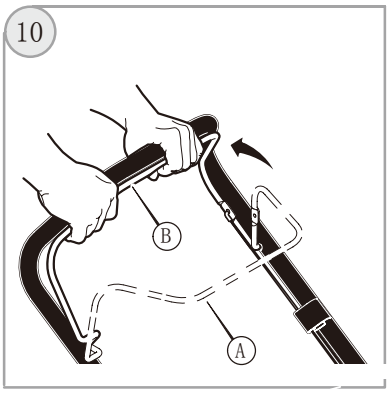

5
A
B

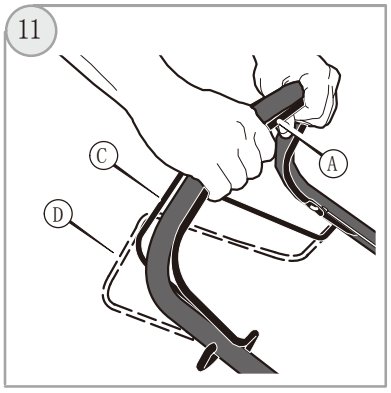

6
C
E
D

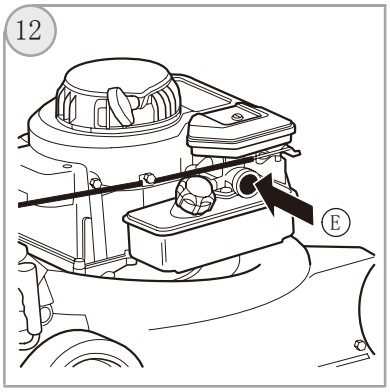

7
G
F
H
I

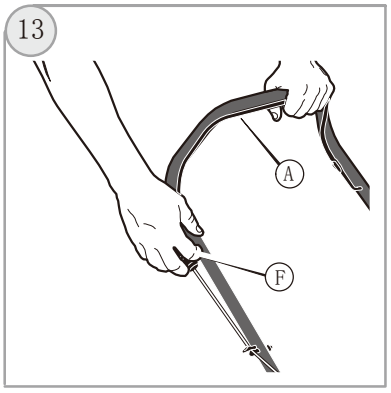

8
B
A


9
B
A

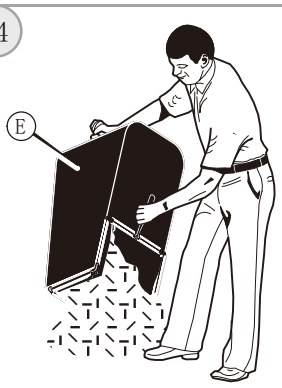

10
B
A


11
C
A
D


12
E

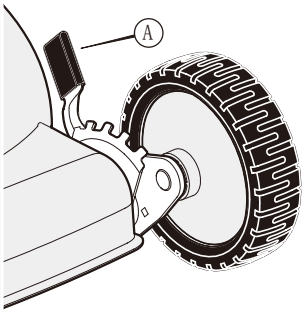

13
A
F

14

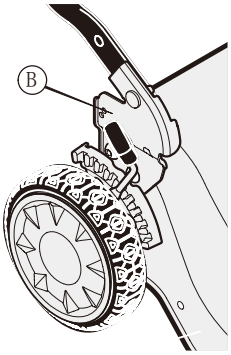


15

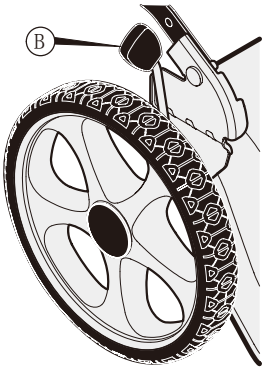
16



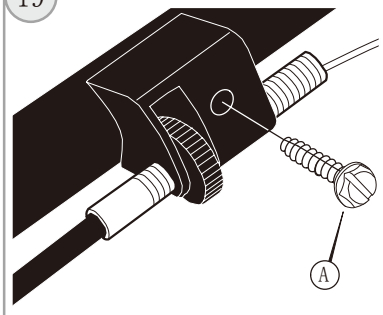
17



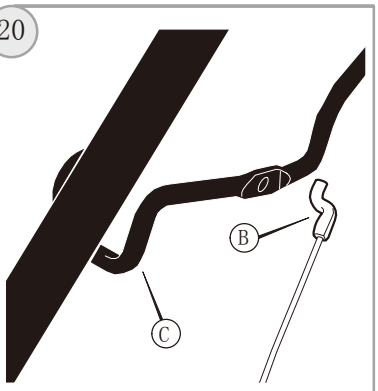
18



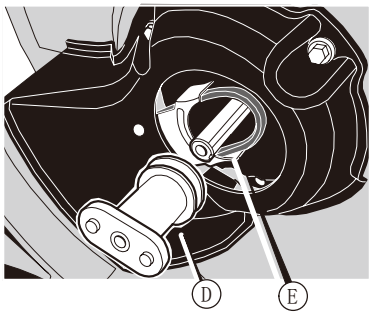
19



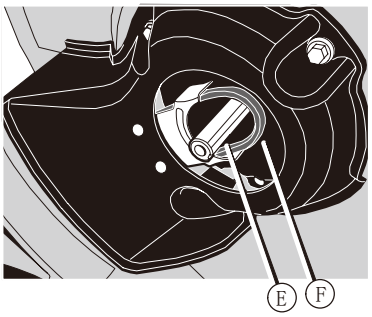
20



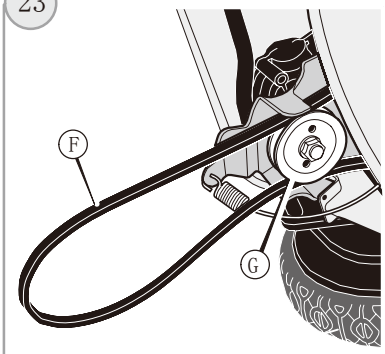
21



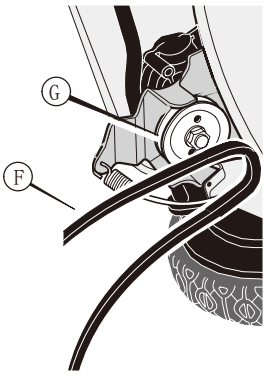
22



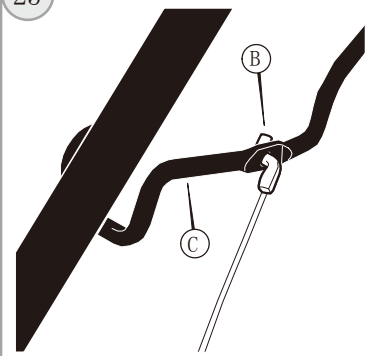
23

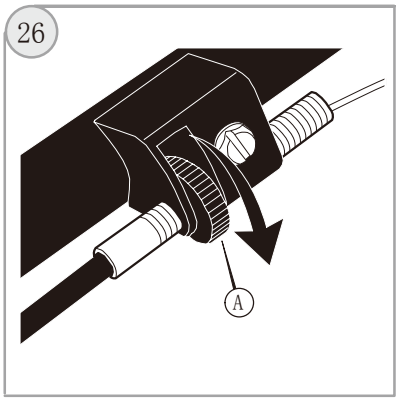


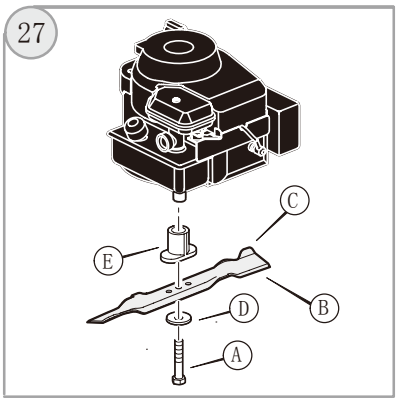
24

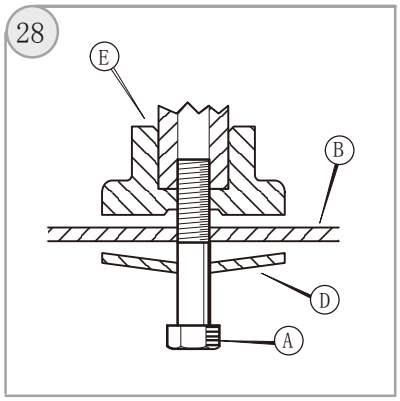


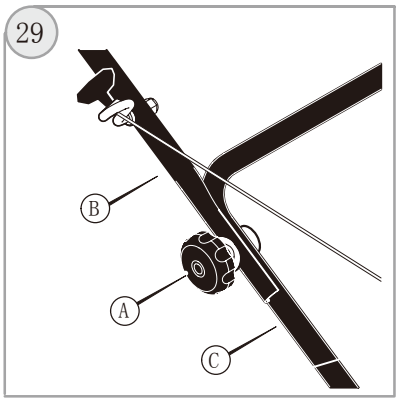
25

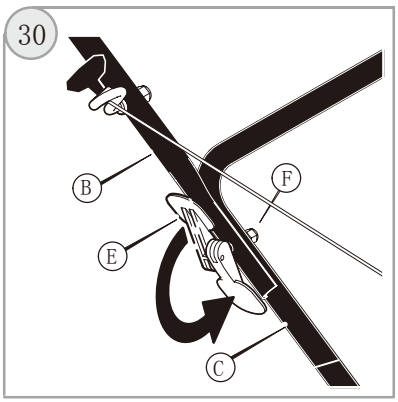


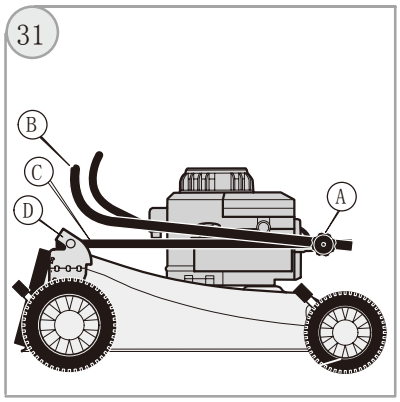

26
A

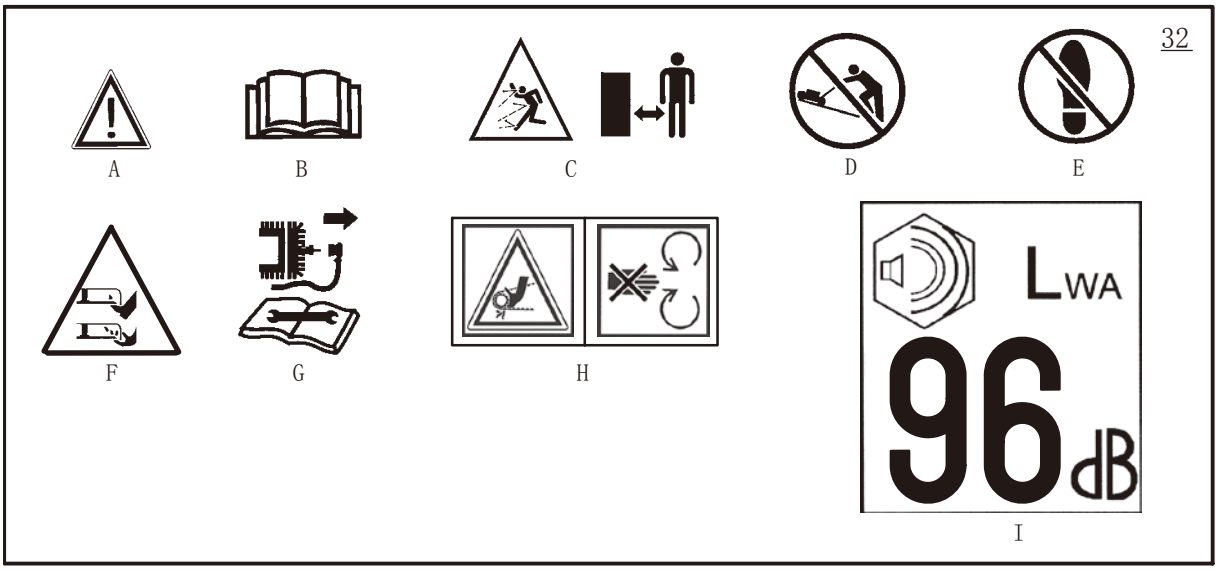

27
C
E
D
B
A


28
E
B
D
A


29
B
A
C

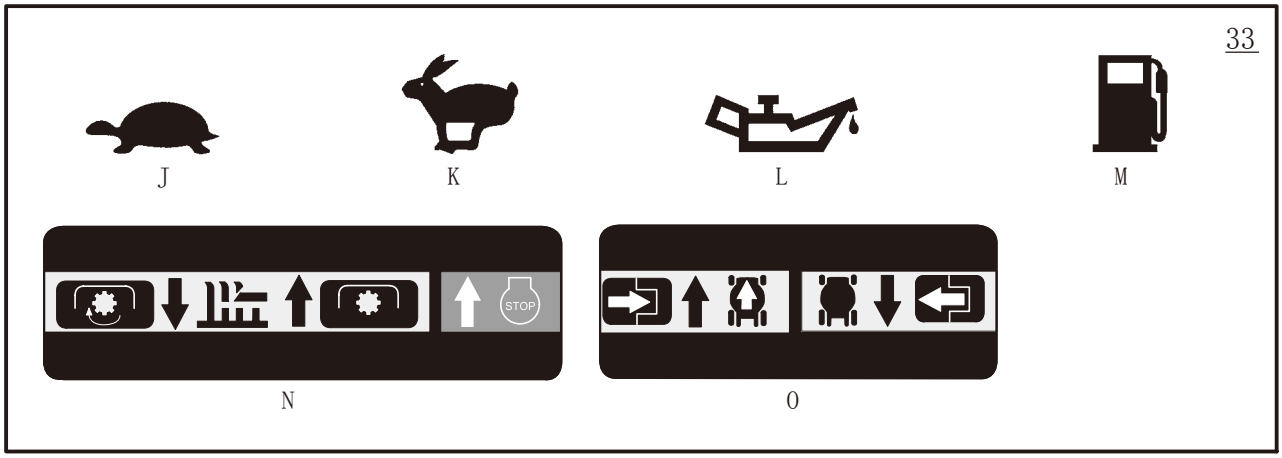

30
B
F
E
C


31
B
C
D
A



安全警告シンボル(図 32)

A. 警告
B. 重要: 本機の使用前に取扱説明書を読んでください。
C. 警告: 物が飛びます。周囲の人を遠ざけてください。 本機を操作する前に、取扱説明書を読んでください。
D. 警告: １０度以上の傾斜地で本機を使用しないこと。
E. 警告: 踏みつけないでください。
F. 警告: 足と手を回転ブレードから離れること。
G. 注意: 本機を修理する前に、スパーク・プラグワイヤを外してスパーク・プラグから離してください。
H. 警告: 指をつぶさないこと。
I. 96dB(A)と宣言された騒音レベルは欧州規制 2000/14/EC に従っています。



コントロールと操作図(図 33)

J. 低速
K. 高速
L. オイル
M. 燃料(ガソリン)
N. エンジン　始動/運転/停止
O. コントロールレバー　ON/OFF

組立

イラストは7ページを参照してください。

梱包を開梱します

芝刈機は工場で完全に組み立てられています。芝刈機をダンボールに梱包する際、ハンドルは折りたたんで格納しています。ハンドルを延ばしてセットするには、次の方法に従ってください。

1. ダンボールから草刈機を取り出します。
2. (図 2) 下部ハンドル(A)の先端が固定ノッチ(B)にあたりノッチに入るまで、下部ハンドルを上げます。
3. 上部ハンドル(C)を引き起こし、下部ハンドルが適所に固定されるまで ノブ(D)を締めます。
   (図 30)注意: 一部モデルの中にはノブではなく、任意のロックレバー(E)となっていることもあります。
4. (図 3) リコイルスタータロープを取り付けるために先ずエンジン・ストップレバー(F)を握ります。
5. (図4) ゆっくりとリコイルスタータハンドル(G)を引いてください、そして、リコイルスタータロープをロープ・ガイド(H)に挿入します。

警告: ハンドルを折り重ねたり上げるとき、ケーブルを破損しないよう注意してください。曲がったケーブルは正しく機能しません。本機使用前に曲がったり損傷しているケーブルを取り替えてください。

集草バッグの組み立

1. (図 5) フレームアセンブリ(A)に集草バッグ(B)の開いている端に滑り込ませます。
2. (図6) ハンドル(C)が草のバッグの外側にあるのを確実にします。クリップ(D)をフレームアセンブリ(E)に取り付けます。

集草バッグを取り付け。(図 7)

1. 芝刈機に集草バッグを取り付けるために、後部ドア(F)を上げます。集草バッグのハンドル(G)を支えて、集草バッグフック(H)を後部ドアピボットロッド(I)に取り付けます。後部ドアを下ろします。

重要: 確実に集草バッグフック(H)を掴み、後部ドアピボットロッド(I)に取り付けます。

エンジンの準備

注意: エンジンにはオイルやガソリンは入っていません。

警告: 使用するガソリンとオイルの種類等に関しては、エンジンの取扱説明書を参照してください。 常に安全なガソリン容器を使用してください。 エンジンにガソリンを入れるとき、煙草を吸わないでください。 換気の悪い囲われた中で、ガソリンを入れないでください。 ガソリンを給油する前に、エンジンを止めてください。 またエンジンを冷却させてください。

本機に使用するガソリンとオイルの種類等に関しては、エンジンの取扱説明書を参照してください。本機を使用する前に、安全、操作方法、メンテナンス、および保管に関する事項を読んでください。

マルチャプラグの機能

警告: マルチャプラグを取り外すか、または取り付ける前に、スパーク・プラグワイヤを外しスパーク・プラグから離してください。

(図 8) 図のようにオプションとしてプラグを持っているモデルもあります。 マルチャプラグ(A)を取り付けるのは、芝をきれいに刈り込むために用います。集草バッグを取り付ける場合はマルチャプラグを取り外してください。

マルチャプラグの取り外し方法

1. (図9) 後部ドア(B)を上げます。
2. 吐出し口からマルチャプラグ(A)を取り外します。

マルチャプラグの取り付け方

1. (図9) 後部ドア(B)を上げます。
2. マルチャプラグ(A)を吐出し口に滑り込ませます。

操作

イラストは7ページを参照してください。

エンジン・ストップレバー(図10)

エンジン・ストップレバー(A)を手放すとエンジンとカッタブレードは自動的に止まります。エンジンを始動し運転するには、操作位置(B)でエンジン・ストップレバー(A)を保持してください。

エンジンを始動前に、数回エンジン・ストップレバーを操作してください。 エンジン・ストップケーブルが自由に動いて、エンジン・ストップレバーが正しく作動するのを確認してください。

エンジン停止(図10)

エンジンを停止するには、エンジン・ストップレバー(A)を手放してください。 スパーク・プラグコードを外し、スパーク・プラグから離してエンジンが始動するのを妨止してください。

後輪駆動方式(図 11)

自走式のモデルには、後輪駆動方式があります。以下の駆動方式を操作してください。

1. ハンドルとエンジン・ストップレバー(A)を一緒に握ります。
   エンジンを始動してください。
   注意: エンジンを止めるには、エンジン・ストップレバー(A)を手放してください。
2. 走行クラッチ・レバー(C)をハンドルに押し進めます。これで駆動方式は噛み合っており芝刈機は前方へ動きます。
3. 駆動のみを解除するために走行クラッチ・レバー(C)を手放します。解放された位置(D)では芝刈機が前進は止まりますが、エンジンは停止せず運転しています。
4. エンジンを停止させるには、エンジン・ストップレバー(A)を完全に手放します。

注意: 新品で駆動方式を解除しても、リアホィールが回転する場合は、ハンドルを持ち上げリアホィールを地面から離してください。これは新しいベルトが充分に馴染んでいないためで、1～2 時間の操作後には止まることになります。

警告: 安全のために、走行クラッチ・レバーが手放されたとき、駆動方式は停止しなければなりません。 駆動方式が停止しない場合は、ご購入の販売店で調整されるか、または修理されるまで、芝刈機を操作しないでください。

エンジンの始動

警告: エンジン始動時もカッティング・ブレードが回転します。

重要: エンジンを始動する前に、何回かエンジン・ストップレバーを操作してください。エンジン・ストップケーブルが自由に動いて、エンジン・ストップレバーが正しく作動することを確認してください。

1. オイルをチェックします。
2. 通常の無鉛ガソリンを燃料タンクに注入します。「エンジンの準備」項目を参照してください。
3. スパーク・プラグコードがスパーク・プラグに接続されるのを確認します。
4. (図 12) 通常の気象条件下では、プライマ・バルブ(E)を３回押します。やや気温が低い場合は、必要に応じバルブを追加して押してください気温が暖かい時は、バルブを押す必要はありません。 続いてプライマボタンを押すときは、２秒待って押してください。
   注意: 新しいエンジンを初めて始動する時は5 回プライマバルブを押してください。
   注意: バルブを押しすぎた場合はキャブレタから溢れることがあります。 本説明書のトラブルシューティングの項で「エンジンが始動しない場合」を参照してください。
5. (図 11) 自走式モデル: 走行クラッチ・レバー(C)が放された位置(D)にあることを確認します。
6. (図 13) 芝刈機の後ろに立ちます。 示されるようにハンドルとエンジン・ストップレバー(A)を片手で握ります。 もう一方の手でリコイルスタータハンドル(F)を握ります。
7. 抵抗が感じられるまでゆっくりリコイルスタータハンドルを引いてください。エンジンを始動するために強く引きます。 始動したら、ゆっくりとリコイルスターターハンドルを戻します。
8. エンジンがロープを 5～6 回引いても始動しない場合はトラブルシューティングを参照します。

芝刈機を操作

警告: 集草バッグが磨耗や劣化がないかどうかをチェックしてください。 破損していれば必ず純正部品に取り替えてください。

集草バッグを刈った芝でいっぱいにするには、スロットルレバー(取付けられている場合)を高速としてエンジンを操作してください。

集草バッグを空にする

警告: 集草バッグを取り外す前に、エンジンを止めてください。先ずスパーク・プラグコードを外してスパーク・プラグから離してください。そして集草バッグを外してください。

1. (図 7) 後部ドア(F)を上げます。
2. 集草バッグのハンドル(G)を持ちます。後部ドアピボットロッド(I)の上でフレームアセンブリフック(H)を外します。
3. (図 14) 集草バッグ(E)から草を空にします。

芝刈チップ

一部マルチャ・プラグを装備しているモデルもあります。マルチャ・プラグが取付けられている場合、芝はきめ細かく切られてリサイクルされます。栄養として土に戻すので、芝生には肥料が少なくて済みます。以下のチップは、芝の性能を向上させて、芝生の外観を改良するでしょう。

- 芝は乾いている必要があります。芝がぬれていると、細かなチップとならず、畝を残すようになります。
- 芝は長いと好ましくありません。 高さは9.8cm までとしてください。 刈高さ調整・アジャスタを高いほうから 3 番目にセットしてください。
- 芝の長さが9.8cm 以上であるなら、2 回に分けて芝刈をしてください。 先ず刈高さ調整・アジャスタを最も高い位置として刈り取り、2 回目は 3 番目にセット

して刈ります。
- カッティング・ブレードをよく磨いでください。 鋭くない刃では、芝の刈取り部は茶色になることもあります。
- モアハウジング内部をきれいにします。芝や他の残骸はモアハウジング内に蓄積して、上記効果は薄れることになります。

刈りあがりを良くするには、次を試みてください:
- 刈り高さを高くします。
- より頻繁に芝刈りをします。
- ゆっくりとした速さで、芝刈りをします。
- 刈り込み方向を変えます。
- もう一度、芝刈りします。

メンテナンス

エンジン・メンテナンス

イラストは８ページを参照してください。

以下のメンテナンスの内容を理解して、良い運転条件で使用するようにしてください。 エンジンを始動する前に、この説明書とエンジンの取扱説明書もよく読んでください。
エンジンのメンテナンスはエンジンの取扱説明書を参照してください。

警告: 点検・調整・修理を行なう際には、スパーク・プラグコードを外して、スパーク・プラグから離しておいてください。

エンジンの傾斜
(図 15) 注意: スパーク・プラグ側を下にして、エンジンを持ち上げないでください。
エンジンを修理、刃の点検またはモアハウジング内の清掃の際に、常にスパークプラグ・ワイヤを外しスパークプラグから離してください。輸送時やスパーク・プラグ側を下にしておいた場合、次のような症状が起きることがあります。
- 始動困難
- 白煙を吐く
- スパーク・プラグの汚れ
- エアフィルタにオイルやガソリンが流れ込む

潤滑
1. 運転 25 時間毎にホイールとすべてのピボットポイントにエンジン・オイルを注油します。
2. エンジンにオイルを注油するにあたり、 エンジンの取扱説明書を参照してください。

注意: エンジン・ストップケーブルに注油しないでください。 潤滑剤は、ケーブルを破損して、ケーブルが自由に動くのを妨害することがあります。 曲ったり破損していたなら、ケーブルを取り替えてください。

モアハウジングの掃除

警告: エンジンが運転中の場合、プレードは回転しています。モアハウジングを掃除する前に、エンジンを止めてください。常にスパーク・プラグコードパークプラグから離してください。

1. エンジンを止めます。
2. スパーク・プラグからコードを外します。
3. モアハウジング内を清掃しハウジング上も清掃します。

高さ調整

警告: エンジンが運転中の場合、プレードは回転しています。刈り高さ調整を行なう際はスパーク・プラグコードを外し、スパーク・プラグから離してください。

個々にホイール調整があるモデル(図 16)
刈高さを調整するには、各ホィールにある調整アーム(A)の位置を動かしてください。
1. 調整アーム(A)を外側に動かしてノッチから外します。
2. 調整アームを所定の位置に動かします。
3. 芝刈機が水平となるようにそれぞれの調整アームが同じ高さとします。

ワンレバーで調整が出来るモデル
(図 17 と図 18)
刈高さを調整するには調整アーム (B) を次のように動かします。
1. 調整アーム(B)をはずします。
2. 所定の位置に調整アームを動かします。

駆動ベルトの脱着

警告: ベルトを外す前に、スパーク・プラグコードを外し、スパーク・プラグから離してください。

駆動ベルトを外すには、次の方法に従ってください。
1. スパーク・プラグからコードを外します。
2. (図 19) ドライブケーブル・スクリュ (A)を取り外します。
3. (図20) ドライブレバー (C)からのドライブケーブルZ型(B)を外します。
4. (図 21) クランクシャフト(E)からブレードとドライブ・プーリ(D)を取り外します。

5. (図 22) クランクシャフト(E)の先端から、駆動ベルト(F)を滑り込ませます。
6. (図 23) 駆動ベルト(F)をトランスミッション・プーリ(G)から引きます。
7. (図 24) トランスミッション・プーリ(G)から駆動ベルト(F)を外します。
   注意: 駆動ベルトは必ず純正部品に取り替えてください。
8. (図 25) 駆動ベルトを組み立てるために、上記の手順を逆にします。 ドライブレバー(C)の内部からのドライブケーブルZ型(B)を差し込ます。
9. 芝刈りを始める前に、駆動装置が正しく切り離されて、芝刈機が停止するかを確認します。 駆動方式が切れない場合、芝刈機を操作せず、 ご購入の販売店に相談してください。

ドライブケーブルを調整(図 26)

警告: ドライブケーブルを調整する前に、エンジン・ストップレバーを手放してください。エンジンが止まるのを待ってください。

駆動方式が正しく作動しない場合、正しく組み立てられていないかどうか、ハンドルをチェックしてください。
すべての結合部が取り付けられているか部品が破損や曲っていることが無いか確認してください。
磨耗した部品は駆動方式の性能を落とすこととなります。
高く密集した芝を刈る際、ドライブケーブルが緩んでいると駆動方式は滑ることがあります。 駆動方式が滑る場合、以下の通り調整するかご購入された販売店にご相談ください。

1. (図 26) 駆動方式が滑る場合、図の示すケーブルアジャスタ(A)を1回転回します。 芝刈機を操作して駆動方式を点検します。
2. 駆動方式がまだ滑っている場合、 ケーブルを短くするためにケーブルアジャスタをもう一回転し駆動方式を点検します。
3. 駆動方式が滑らなくなるまで、 調整とテストを繰り返します。
4. 芝刈りを開始する前に、 システムが正しく作動しているかを確認します。 駆動方式が解除されないなら、芝刈機を操作する前にご購入された販売店にご相談ください。

ブレードのサービス
(図 27、図 28)

警告: ブレード(B)かブレード・アダプタ(E)を点検する前に、スパーク・プラグコードを外しスパーク・プラグから離してください。 ブレードが物に当る場合、エンジンを止めてコードをスパーク・プラグから外してください。 損傷がないかどうか芝刈機を確認してください。

頻繁に磨耗やひびなどが無いかブレード(B)を点検してください。 またブレードを固定しているボルト(A)も点検してください。
ボルトが充分に締まっているか、またブレードがとどこかに当るようであれば、 エンジンを止めてください。 ワイヤをスパーク・プラグから外してください。 損傷がないかどうかブレード・アダプタ(E)を点検してください。
曲り・破損・極端に磨耗または他の損傷がないかブレードを点検してください。芝刈機を操作する前に、破損箇所を純正部品に取り替えてください。 安全のため2年毎にブレードを取り替えてください。
ブレードは砥いだものを使用してください。 磨耗したまま使用すると、芝の切り口が茶色になることがあります。

ブレードの取り外し
(図 27、図 28)

警告:ブレードを外す前に、スパーク・プラグコードを外しスパーク・プラグから離してください。 ブレードには、鋭い刃があります。手袋か布を使用して、手を保護してください。

1. 燃料タンクからガソリンを抜きます。
   注意: スパーク・プラグ側を下にして、 エンジンを倒さないでください。「エンジンの傾斜」項目を参照してください。
2. マフラかスパーク ・プラグの側を上にして持ち上げます。
3. ブレードが回転するのを妨具ために一片の木を使用します。
4. ブレード(B)を固定するボルト(A)を外します。
5. 「ブレードのサービス」項目に基づきブレードを点検します。極端に磨耗したり、 損傷していれば純正部品のブレードに取り替えます。
6. 曲がったエッジ(C)でブレードをモアハウジングに向けて取り付けます。 ブレードが逆である場合、 正しく切れないで、事故を引き起こす場合があります。
7. オリジナルのワッシャー(D)とボルトでブレードを固定します。 ワッシャのふくらみ側がブレードに向かっているのを確認します。
8. 40.7Nm(30lb-ft) のトルクでブレードを固定しているボルトを締めます。

警告: 常に固定ボルトは充分に締め付けてください。緩んでいるボルトかブレードが事故を引き起こす場合があります。

刈高さの点検
(図 27 と図形 28)

先ず狭い範囲で芝を刈ってみてください。刈り高さが合わなかったり、刈った芝が放出されない場合は、原因は以下の通りである場合があります:

・ ブレード(B)は、曲がるか破損している。
・ ブレードの刃が切れない。
・ ブレードが磨耗している。
・ ブレードのアダプタ(E)が壊れている。
芝刈機を使用する前に、修正します。

折りたたみのハンドル格納
注意: ハンドルを折り曲げるか、上げるときはケーブルを破損させないよう注意してください。曲がったケーブルは正しく機能しません。芝刈機を使用する前に、交換します。

ハンドルの折り重ね方
1. (図29) ノブ(A) 付モデルは、ノブ(A)を緩め下部ハンドル(C)にハンドル(B)を重ねます。
2. (図 30) レバー(E) 付モデルは、折り重ねるために上部ハンドル(B)を離すためにロックレバーを上げます。注意: ハンドルを折り重ねるかまたは上げる際、 ケーブルが上下のハンドルの間またはハンドル固定部の周りに絡まないようにしてください。
3. (図 31) 上部ハンドル (B)をユニットの後部に向かって回転させます。
4. 下部ハンドル(C)の端を押します。
5. 図のようにエンジンの上にハンドルを前方に回転させます。
ケーブルが破損されていないかを確認します。

ハンドルの持ち上げ
1. (図31) 下部ハンドルロックの端が操作位置まで下部ハンドル(C)を引きます。
2. オペレータの位置にハンドル(B)を上げます。
3. (図29) ノブ(A) 付モデルはノブを締めます。
4. (図 30) レバー(E) 付モデルは操作位置にハンドルを合わせ、ロックレバーを押します。 充分に固定するよう止めナット (F)を締めます。

シーズン後の芝刈機格納

警告: 囲まれた部屋の中や火の気がある場所、または煙草を吸っている場合はガソリンを抜かないでください。 ガソリン蒸気は爆発か炎をもたらすことがあります。

1. 燃料タンクからガソリンを抜きます。
2. ガソリンを使いきって停止するまで、 エンジンを運転します。もしくはガソリンに燃料劣化防止剤 「フレッシュスタート」を混ぜてください。
3. エンジンが暖かい間にオイルを排出します。 新しいオイルをクランクケースに注入します。
4. シリンダからスパーク・プラグを取り外し、 シリンダ内に約30 ㎤(1オンス)のオイルを注ぎ込みます。 ゆっくりとオイルがシリンダ内を潤滑するように、 リコイルスタータハンドルを引きます。 新しいスパーク・プラグを取り付けます。
5. シリンダ冷却フィンとエンジン ・ハウジングから土やゴミを掃除します。
6. モアハウジングの中を清掃します。
7. 塗料を保護するべく芝刈機を完全にきれいにします。
8. 換気のよい部屋に保管します。
9. 集草バッグ内の草を取り除きます。 格納の間にバッグに残っている草はバッグを破損することがあります。

交換部品のご注文
エンジン以外の交換部品(トランスミッション、 トランスアクスルまたはデフ装置)は、 製品をご購入された販売店からご購入できます。
必ず純正の交換部品を使用してください。純正以外のアクセサリを使用しないでください。 部品を適切に交換するために、芝刈機のネームプレートからモデル番号を書きとめておいてください。
注文するとき、以下の情報が必要です:
・ モデル番号
・ シリアル番号
・ 部品番号
・ 数量

トラブルシューティング

エンジンが始動しない
1. 燃料タンクには新鮮できれいなガソリンを入れてください。 古いガソリンを使用しないでください。
2. エンジンが冷えている場合で、プライマボタン(いくつかのモデルでのオプション)を5回押します。
3. スパーク・プラグへのコードがスパーク・プラグに確実に接続されていること。
4. キャブレタを調整します。 エンジンの取扱説明書を参照してください。
5. エンジンのシリンダ内に多量のガソリンが吸い込まれている場合は始動しません。 スパーク・プラグを取り外して、シリンダ内を乾かします。 スパーク・プラグコードをスパーク ・プラグから外して遠くに離します。数回リコイルスタータハンドルを引きます。スパーク・プラグを取り付けてコードをスパーク・プラグに接続します。 エンジンを始動します。
6. 濡れた芝や長い芝の上では始動不良となります。 乾いた表面で芝刈機を始動します。
7. エンジン・ストップレバーがハンドルと一緒に握った状態で始動します。

8. 燃料シャットオフバルブが ON「開」の位置にあることを確認してください。 エンジンの取扱説明書を参照してください。

エンジンが停止しない

1. エンジンストップ・レバーが放されていない。
2. エンジンストップ・ケーブルを確認してください。 ケーブルに損傷や曲がりがある場合は交換してください。

エンジンの出力不足

1. 刈高さ調整をチェックします。 草が長い場合、刈高さを高くします。
2. ブレードハウジングの下部をチェックします。 ブレードハウジング内の堆積した草や汚れを清掃します。
3. スパーク・プラグのコードをチェックします。 コードが接続されているのを確認します。
4. エンジンの冷却フィンから草と泥などを取り除きます。
5. キャブレタの調整をします。 エンジンの取扱説明書を参照してください。
6. スパーク・プラグギャップをチェックします。 0.76mm(0.030in)のスパーク・プラグギャップとします。
7. エンジンのオイル量をチェックします。 必要であれば規定量まで補給します。
8. エンジンエアクリーナをチェックします。 エンジンの取扱説明書を参照してください。
9. ガソリンが劣化していることもありますので、燃料タンクからガソリンを抜いて、きれいにします。 新鮮できれいなガソリンを燃料タンクに補給します。

過度の振動

1. ブレードのバランスがとれていません。 ブレードを外して純正のブレードに交換します。
2. ブレードが曲がったり壊れていないかチェックします。**破損しているブレードを使用することは危険であり、取り替えなければなりません。**
3. ブレードのアダプタをチェックします。 破損したブレードのアダプタを取り替えます。
4. 振動がまだ収まらない場合はご購入の販売店にご相談ください。

草が放出されない

1. モアハウジングを清掃します。
2. 極端に刃先が磨耗したブレードとなっていないかチェックします。 ブレードを外して砥ぎます。 安全のために、2 年毎にブレードを純正部品に取り替えます。

草が刈れない

1. 刈高さ調整をチェックします。 各ホイールの高さの調整は同じとなっていなければなりません。
2. ブレードの刃先をシャープにしてください。
3. 曲がったり破損したブレードでないかチェックします。 **破損しているブレードは危険であり、取り替えなければなりません。**
4. 破損したブレード･アダプタとなっていないかチェックします。 破損していれば取り替えます。
5. 高速もしくはスタート位置にスロットルレバー(備えられているなら)を動かします。
6. スロットルコントロールを確認します(調整式の場合)。スロットルコントロールがチョーク位置となってないのを確認します。
7. スロットルコントロールを高速とします(調整式の場合)。エンジンの取扱説明書に基づいた速度であるかをチェックします。

保証規定

保証内容

本機の材質もしくは製造技術上あるいは双方の不備による故障が発生した場合、故障発生後１ヶ月以内にお申し出のある場合は当社あるいはお買い上げの特約販売店にて、これを無料修理いたします。(これを保証修理と称します)

保証修理は部品の交換あるいは修理とします。製品本体の返品または代金の返却はいたしません。

保証期間

お客さまの使用目的によって保証期間が異なります。

家庭用: 納入完了日より　１年間

業務用: 納入完了日より ９０日間

「家庭用」とは最初にご購入されたお客様が個人の住宅用に使用することを意味します。

「業務用」とは営業用、収入源としての使用または貸し出し用を含む「家庭用」以外の全ての用途に使用することを意味します。

この規定では一度でも「業務用」としてご使用となった場合は、それ以降「業務用」とみなします。

尚搭載エンジンについては別途ブリッグス・アンド・ストラットン エンジンの保証規定に基づきます。

保証の適用除外項目

保証期間内であっても次の各項に該当する場合は保証の対象外とします。

①保証登録書の提示が無い場合または登録書の改ざんが認められる場合
②製品の通常使用による消耗部品
（ブレード刃、ゴム製品、ガスケット、ワイヤ、スパークプラグ、油脂類、その他これらに類する消耗品）
③取扱説明書に基づく取扱方法によらない使用、使用者の過失または点検・整備不良・保管不具合等によって生じたと認められる故障
④損傷部品の提示が無い場合
⑤使用者の改造や変更が原因となって発生した故障
⑥純正部品以外を使用したことによる故障
⑦当社が示す仕様の限界を超えて使用した場合
⑧販売店の記入欄に販売店による記載・証明が無い場合
⑨当社指定の特約販売店以外で修理され、故障した場合
⑩一般に機能上影響のない感覚的現象（音・振動・臭いなど）
⑪レンタルやリースなどに一度でも使用された場合
⑫アクセサリ・工具
⑬天災・地変・火災及び不可抗力の事故によって生じたと認められる故障
⑭機械の故障発生から保証修理までに失われた利益

保証判定
保証判定はブリッグス・アンド・ストラットン・ジャパンもしくは弊社が認定したサービス代理店が判定します。

保証修理上の注意
保証修理をお受けになる場合は保証登録書を必ずご提示ください。　保証登録書がない場合は、保証対象とはなりません。
またこの保証修理は該当する部分の修理・調整もしくは故障箇所の部品を交換することであり、エンジン及び芝刈機そのものの交換は対象とはなりません。

輸入元
ブリッグス・アンド・ストラットン・ジャパン
東京都中央区日本橋蛎殻町　1-25-4　日本橋栄ビル
電話 03-5649-2282 FAX 03-5641-3218